

山口大学医学部附属病院看護師の皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて対象となる方もしくは対象となる方の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも対象となる方に不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	看護業務量調査を看護の質向上につなげる取り組み			
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後から 2019年3月31日			
③ 対象患者	対象者1：④の対象期間中に当院の業務量調査に参加した産科婦人科病棟 の助産師・看護師 対象者2：④の対象期間中に当院のベビーマム外来に出向した産科婦人科 の助産師			
④ 対象期間	対象者1 2016年8月22日～2016年8月26日 2017年8月21日～2017年8月25日 ¹ 対象者2 2016年09月01日～2016年09月30日 2017年09月01日～2017年09月30日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	産婦人科病棟			
⑦ 研究責任者	氏名	藤里 美子	所属	山口大学医学部附属病院 看護部
⑧ 使用する情報等	対象者1：業務量調査内容（業務内容・時間）、勤続年数 対象者2：ベビーマム外来の経験年数、超過勤務時間			
⑨ 研究の概要	看護業務量調査（以下業務量調査）は看護師がどのような業務に時間を費 やしているか現状を把握するために実施され、業務改善に役立ててきました。 しかし、業務改善により時間外勤務は減少しても、質を担保出来た上 での時間短縮になっているのかという意見が出てきました。看護業務の可 視化や看護業務分担の取り組みを看護の効率化だけに着目するのではなく、 目標管理に活かし看護の質向上につなげるためのツールの1つとして 活用できるかを検証したいと考えました。そこで1事例として産科婦人科 病棟の看護師・助産師が乳房ケアに関わった業務時間の増減と、対象患者 に関わった乳房ケアの内容・母乳率を調査・分析することで、業務量調査 を看護の質向上につなげる評価指標とし活用できるか検討します。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018年 3月 26日		
⑪ 研究計画書等の閲 覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報 及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			

⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	看護部看護研究費		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二病棟二・三階 担当者：藤里 美子		
	電話	0836-22-2560	FAX 0836-22-2795